

様 入院診療計画書 病名/症状 ( / ) 婦人科悪性腫瘍腹腔鏡手術を受けられる患者様へ

	入院日・手術前日	手術日	術後 1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日頃
	/	/	/	/	/	/	/	/	/
検査	採血をします 剃毛をします	手術後は翌朝まで 酸素吸入を行います	必要時ガーゼ交換 【術後1日目と6日目に採血を予定しています。前日にお知らせします】 お腹の傷は毎日チェックします					退院前の診察	退院 
処置	手術に必要な物品を確認します	術後からお腹の管が入っています 術後から術後2日まで血栓予防の皮下注射を1日2回行います 背中には鎮痛剤のチューブがはいています	お腹の管は排液が少なくなったら主治医の判断で抜去します 鎮痛剤のチューブをぬぎます						
薬 注射	手術前に点滴をします（この点滴は術後数日まで続きます。経過により日数は変わります。） 昼頃、下剤の内服があります 21:00下剤、と安定剤内服があります 状況に応じ薬剤師がご説明に伺います 								
食事	朝食後より絶食 21時より絶飲食	絶飲食 	術後は排ガス確認後、流動食から開始します						
	特別な栄養管理の必要性 ( 有 ・ 無 )								
清潔	シャワー又は入浴		清拭 点滴やお腹の管が入っている間は清拭を行います				シャワー 	お腹の管がとれ 防水テープになれば シャワー開始です	
活動 休息 排泄	病院内	手術後はベッド上安静 術後は尿管が入っています 下肢の静脈の血栓予防のため フットポンプをトイレ歩行まで 装着します	ベット上で横向きや 座る練習をします 午後体調がよければ 歩行練習をします	尿管を抜きます トイレまで歩きます	病棟～病院内 (体調に応じて)		病院内		
リハビリ			「総合実施計画書」を作成し、リハビリを開始いたします 術後1日目より理学療法士がお部屋に訪問しリハビリが開始されます 状態をみながらベットサイド→病棟内→3階リハビリ室とすすみます						
総合的な 機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います								
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします								
説明	オリエンテーション① 病棟案内や日課 オリエンテーション② 手術に必要な物品 ・注意事項など 手術室看護師の訪問 主治医から手術について説明をきかれてない方はお知らせください	手術後主治医より家族の方へ 手術の説明があります (手術中家族の方は控え室で 待機していただきます)	退院までに主治医から手術の内容や経過について説明があります   看護師から 退院後の生活についてお話しします						
その他	手術後も数日間出血することがありますので、ナプキンをご用意ください								

※この予定表は患者様の状態に応じて変わることがあります  
何か質問があれば看護師にお尋ねください

主治医

担当医

説明看護師

管理栄養士

年 月 日 患者署名

済生会福岡総合病院 産婦人科病棟 平成30年5月